発行日　2023年7月　第39号

一般社団法人宮城県助産師会

宮城県助産師会のロゴマーク

宮城県助産師会だより

～巻頭言～

2023年度日本助産師会通常総会と日本助産師学会に参加して

代表理事（会長）　塩野悦子

会員の皆様、今年も早いもので、半年が過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか？この5月連休後、コロナの位置付けが5類感染症に移行し、人との関わりや移動が少しずつ元に戻っています。私が担当する両親学級は以前の定員に戻り、参加者からは他の夫婦との交流が持ててよかったという感想を多くいただきました。以前は当たり前だったことがとても嬉しく思いました。しかしコロナ前と違うのは男性育休を取得するパパが確実に増えたことです。この度の「異次元の少子化対策」が少子化是正になるか疑問視もされていますが、この変化は揺るぎないものと実感しています。助産師として父親支援・夫婦支援はさらに大事な内容になります。

さて、私は5月26日開催の2023年度公益社団法人日本助産師会第96回通常総会（於：日本教育会館）に参加してきました。3年ぶりの対面開催でしたが、来賓挨拶では近藤元会長、岡本元会長は会場での挨拶、山本前会長は生まれたての赤ちゃんと一緒に動画での挨拶と、コロナ禍の技も活かされた和やかな会でした。今回は役員選挙があり、新たに会長に高田昌代氏、副会長に中根直子氏が就任されました。詳細は機関誌などをご参照ください。

また、第79回日本助産師学会（集会長：田口副会長）が開催され、5月27日はライブ配信で35題の演題発表が行われ、講演等はオンデマンドで配信（6月30日まで）されました。演題は産後ケア、コロナ禍のケア、プレコンセプションケアなど多岐に渡り、質の高い発表でした。講演も興味深い内容ばかりでしたが、特に関東1施設のデータですが、6割が無痛分娩という実態に大変驚いたと同時に、助産師としての役割の重要性をあらためて認識しました。また臨床心理士による災害時におけるレジリエンスのお話では心が癒され、外国人妊産婦の医療通訳者のお話では、助産師のあり方が具体的で大変参考になりました。

時代の動きとともに、変わらないもの、変わっていくものがありますが、助産師はいつまでも女性と子どもとその家族に寄り添う大切な存在であることは間違いありません。さて最後に、聖路加同窓会宮城支部長としてのお知らせをご容赦ください。堀内成子先生の講演のチラシを同封させていただきました。よろしければご参加ください。

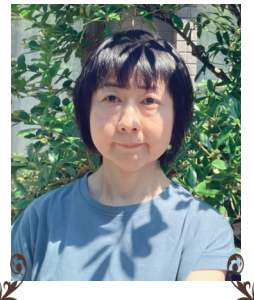
日本助産師会会長賞　受賞おめでとうございます！　ますますのご活躍を祈念いたします！

本田由美

この度は、このような過分な賞を賜り、心より感謝申し上げます。私は東松島市で「ほんだ母乳育児相談室」を1998年に開業いたしました。その前は石巻赤十字病院に勤務していたのですが、退職してすぐに宮城県助産師会に入会いたしました。幸いなことに、石巻地区には齋藤ついみ先生という大大大先輩が開業されていて、地区内の助産師の交流も活発でした。私にとって、その繋がりが地域や行政にアプローチする際の支えになりました。助産師会は、開業している私達にとって頼もしい後ろ楯です。また、仲間との出逢いの場です。この表彰を、一番、天国の齋藤ついみ先生に報告したいです。沢山の赤ちゃんをとりあげた、ついみ先生の大きな手を忘れません。
（本田由美）

この度は宮城県助産師会よりご推薦いただき、第96回（公社）日本助産師会通常総会の場において「日本助産師会会長表彰」を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

機会があり、助産師の資格を取得して31年目、母となってから、29年目となりました。母子の目線でケアできる助産師を目指し、今後も研鑽を積み重ね精進して参ります。ありがとうございました。（山口之雪）



山口之雪

宮城県助産師会通常総会開催にあたり、日本助産師会から贈られた祝辞を掲載いたします

二〇二三年度責会懇会同僚にあたって

二〇二三年度　一般社団法人宮城県助産師会　通常懇会の同僚、おめでとうございます。日頃より日本助産師会の活動において、ご協力ならびにご尽力いただき心より感謝申し上げます。

社会は、新型コロナ感染症への対応を変え、経済活動や社会活動がこれ以上低迷しないよう、通常の動きを取り戻そうとしています。また、岸田総理が「異次元の少子化対策」を行うとし、この四月からこども家庭庁も始動しました。

このような動きを踏まえ、本年度は、本会のみならず、責会におかれましても、母子とその家族そして女性の健康支援についての活動を推進していくための重要な時期であると考えております。密な連携をとり、ともに活動推進に尽力していきましょう。また、時代や対象者のニーズに応じた助産師活動の在りかたを検討し、実践していくことは、専門職である私たちの責務です。その点についてもともに検討していけたらと考えます。

本会は、責会と協働しながら、助産師が生き生きと働くことや、支援対象である女性とその家族がより健康に暮らせることを目指し、今年度も活動していきたいと願っています。責会におかれましても、地域の妊産婦および母子への切れ目ない支援やウイメンズヘルス向上のための活動を推進にご尽力ください。

責会のますますのご発展を心より祈念いたします。

二〇二三年四月吉日

公益社団法人日本助産師会　会長　島田　真理恵

令和5年度　一般社団法人宮城県助産師会通常総会　開催報告

理事（書記）　伊藤朋子

令和5年5月20日（土）に第14回通常総会が開催されました。会員187名のうち139名の出席（委任状を含む）を得ました。コロナ禍により、今回は3回目の遠隔総会となりました。すべての議事はオンライン投票により承認を受け、令和5年度の事業スタートを切ることとなりました。役員による綿密なリハーサルと、参加会員のご協力によりトラブルなく実施することができました。

委員の交代は、災害対策委員：青山幸恵さんから佐藤由美子さんへ、書記補佐・会員管理：山口之雪さんから伊藤朋子へ、また、教育委員として川村三春さんが就任しました。

コロナも5類移行となったことから、対面でのイベントを再開させるなど、さらに魅力的な活動を展開していきたいと思います。会員同士、力を合わせて当会を盛り上げていきましょう。

理事・委員着任のご挨拶

災害対策委員
佐藤由美子

災害対策委員を務めさせていただくことになりました。訪問専門で授乳相談や産後ケアの仕事をしております。宮城に越してきて1年も経たずに東日本大震災を経験しました。知り合いの少ない中、助産師のみなさんに助けてもらったことも多く、その経験も今後の活動に活かして行きたいと思います。
平時から皆さんとのつながりを大事にして行きたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。（佐藤由美子）

今年度より教育委員を務めさせていただきます、川村三春と申します。
7月よりとも子助産院に勤務しています。助産師会での仕事が初めてのため分からないことが多いのですが、皆さまにご指導頂き、微力ながら務めさせていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。（川村三春）

教育委員
川村三春

【報告】令和4年度「安否確認訓練（災害に対応する訓練）」実施報告　災害対策委員　戸田恭子

令和4年度の訓練は、令和5年2月7日（火）に実施いたしました。災害の想定は、「2月7日 10時 震度5強の地震 津波なし」とし、災害対策本部長からリーダー・サブリーダー専用メーリングリストへ安否確認の発令後、グループメンバーの安否確認を行い、本部に報告していただきました。訓練の発令から48時間までに98％の安否確認が例年通り実施できましたことをご報告いたします。会員・リーダー・サブリーダーの皆さま、ご協力ありがとうございました。 今後も、地震に限らず様々な自然災害が発生することが予測されます。災害時は自身の安全の確保が第一優先となりますが、被災後の中長期支援が当会の災害支援になります。今後とも当会の活動にご協力どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の災害連絡網を送付いたします。ご自身の所属グループとリーダー、サブリーダーをご確認ください。なお、本連絡網は安否確認に加えて会員の皆様に速やかに周知したい情報が生じた場合の連絡にも使用させていただきます。

令和5年度の安否確認訓練（災害に対応する訓練）は、日を定めずに実施します。会員の皆さまは訓練日時に、リーダーまたはサブリーダーからのトップダウン方式により安否を3日以内に連絡してください。ご協力よろしくお願いいたします。

【報告】令和5年6月15日（木）　令和5年度周産期福祉避難所開設訓練に参加して　災害対策委員　戸田恭子

仙台市は、平成28年4月に災害時の妊産褥婦とその家族の支援のために仙台市内の看護系学校6校と東北大学病院、宮城県助産師会とで「周産期福祉避難所運営に関する協定」を結びました。看護系学校は避難所開設施設とし、東北大学病院はハイリスク妊産婦・新生児の受け入れ施設または受け入れ医療機関の調整を行い、当助産師会は依頼を受けて周産期福祉避難所へ助産師の派遣をします。

今年度の訓練は、6月11日に仙台市で震度6強の地震が発生して、同日に通信訓練を行い、6月15日には仙台徳洲看護専門学校において「周産期福祉避難所」開設訓練を行いました。訓練は22名の参加があり、当会からは塩野会長と災害対策委員2名が派遣助産師として参加しました。様々な課題がありますが、災害時をイメージして訓練に参加することができました。

当会では協定に基づき「周産期福祉避難所支援マニュアル」を作成し、随時更新するとともに災害派遣助産師を常時募集しています。

当会の主旨に是非ともご賛同いただき災害派遣助産師の登録にご協力をお願いします。

災害派遣助産師登録
QRｺｰﾄﾞ

【お願い】災害関連配布物について

・防災マニュアル（簡易版）は4つ折りにしてご使用ください。
・災害連絡網（安否確認グループ名簿）は個人情報の取り扱いにご注意くださいますようお願いいたします。

仙台市思春期講話・石巻市親になるための教育事業　保健指導部会長　武者文子

今年度も仙台市と石巻市から思春期教育事業を受託することができました。

仙台市の中学校20校、石巻市の中学校13校、その他、多賀城市中央公民館、亘理町の小学校、川崎町の高校からもご依頼をいただき、思春期教育事業担当の会員助産師で手分けをして、6月から各学校に出向いています。

今年から全国の小中高校で、「いのちの安全教育」が本格的にスタートし、環境が整ったことで授業もしやすくなりました。日本助産師会で企画された「包括的性教育実践助産師育成研修」を全受講した会員も数名おり、県助産師会に報告がありました。

思春期健康教育でも助産師の活躍の場が増えて嬉しい気持ちと各世代に合わせた内容を吟味して、ご依頼いただいた方々から満足していただける授業をしていくための努力をしていかなければと思っております。

県助産師会の秋の研修では思春期健康教育事業担当者から「学校の先生からお話を聞きたい」とリクエストがあったため、教育委員と相談して、小学校教諭の鈴木茂義先生の講演会も企画していただきました。これから思春期健康教育を実施していきたい会員の皆様には是非、仙台市や石巻市の委託授業の見学からはじめていただけたらと思います。

武者までメールでお問い合わせください。mammamusha@gmail.com

仙台市委託事業 産後ケア事業(訪問型) 実施報告

産後ケア事業 事務担当 早坂ひかり

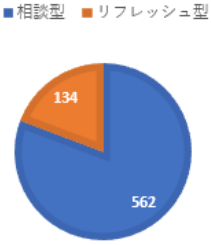
～皆さんも一緒に活動しませんか！～

令和4年10月より仙台市の委託で産後ケア事業の訪問型が始まり、9ケ月が経過しました。宿泊型とデイサービス型に加え新設された訪問型では、生後1歳未満の母子を対象、相談型(2時間)とリフレッシュ型(4時間)の2種類あり、通算7回の利用が可能です。リフレッシュ型は政令指定都市では初めての試みで、育児相談に加えて休息を希望される方が多いのが特徴です。訪問助産師の登録者数は、今年度1名増え現在13名で活動しています。

事業開始後、現在までの現状を報告します。訪問実施総数と内訳については、図を参照してください。

4月からは定期的に事例検討会を開催し、困ったこと等を皆で話し合い共有することで、質の向上に努めています。訪問型の産後ケアでは、希望者には一人の方に継続して関わることができます。その結果、より広く深く母親の育児の現実を知ることができ、以前には気づかなかった自分のケアの視点を考える機会にもなっています。地域で働く助産師が母親にとっていつでも相談できる存在になれるように、励んでいきたいと思います。

仙台市訪問型産後ケア実施数
（R4.10～R5.5　696件）



【仙台市委託事業 産後ケア事業(訪問型)研修】

産後ケア事業を請け負う助産師に求められる知識と技術についての研修

第1回:8月 3日(木)19:00～20:30 赤ちゃんの運動発達
第2回:9月29日(金)19:00～20:30 離乳食

講師:**森田 綾 先生**(作業療法士)

対象:宮城県助産師会会員
申し込み:不要 (右記メールアドレスよりご連絡いたします)

【広報委員より】

当会主催の研修会ご案内は、下記メールより配信しております。
kmiyagijyosannsi@gmail.com

＊日本助産師会に登録されているアドレスに送信しております。4月以降一度も連絡がない方は、上記アドレスまでご連絡をお願い致します。迷惑メールフォルダなどをご確認ください。

宮城県・仙台市委託事業「助産師による妊産婦電話相談」

及川裕美

令和2年度から始まった「助産師による妊産婦電話相談」は、妊娠・出産・育児に不安を抱える妊産婦の様々な相談に対応する電話相談窓口です。私は、当事業に令和4年10月から従事しております。電話相談に従事するようになって、医療者だからこそ気付かない視点での悩みやご相談をいただくこともあり、日々利用者の方から学ばせていただいております。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこともあり、コロナウイルスに直接関連するご相談は減ってきていると感じております。しかし、コロナ禍の余波もあり、家族など周りの協力が得られず、孤独を感じながら育児をしている方がまだまだ多い印象があり、傾聴だけでなく、社会資源の紹介などの必要性を感じております。これからも、顔は見えないからこそ、気兼ねなく相談できる身近な助産師として、切れ目のない支援の潤滑剤として役割を担っていきたいと思います。

相談員募集のお知らせ

令和2年度から本事業が開始され、4年目となりました。周知もされ、相談件数が伸びてきております。今年度は電話相談員を募集し、増員する事といたしました。

【募集要項】
宮城県助産師会会員である事
電話相談未経験者も可能。授乳・育児(精神面も含む)に関する相談が多いため、それに対応出来る方。また、傾聴につながる講習を受けている事が望ましい
【電話相談の詳細】
電話相談開設日:月水金13:00～19:00まで(日曜祝日、年末年始を除く)
電話相談担当方法:電話転送による電話担当
電話相談専用の携帯電話から、各担当者への個人の電話(携帯又は固定電話)に転送して行う。このため、自宅で電話相談の担当が可能
時給:1600円
担当日数:毎月2日程度(相談員の人数により担当日数は増減します)
これまでの実績とお願い:1日3～4件の相談がある為、担当時間の確実な確保をお願いいたします(他仕事との兼務は出来ません)
年6回程度、妊産婦電話相談定例会議を開催しています。

【申し込み方法】
https://business.form-mailer.jp/fms/85dc15c1204565
上記申し込みフォームからお申し込みください。

会員の皆様、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】 一般社団法人宮城県助産師会
妊産婦電話相談員 千坂芳恵・山口之雪
miyajodenwasodan3834@gmail.com

仙台市委託事業　令和5年度「せんだい助産師サロン」

高橋真理子

「せんだい助産師サロン」は、仙台市在住の生後2か月から5か月の母子を対象に、のびすく各館において対面とオンラインにて月に1～2回開催しております。

今年度に入り、さらに多くの母子の参加が可能となるよう、参加対象月齢・実施回数・募集人数が拡大されております。対面サロンはどの区も毎回ほぼ満席です。育児相談はもちろんのこと、母親同士の交流や母子の初めてのお出かけの機会になっているようです。

一方、外出が困難な家庭や、兄弟児がいるご家庭へ向けて、オンラインサロンも開催しています。対面に比べ、オンラインサロンの周知が進んでおりません。オンラインでも、母親同士の交流や、ふれあい遊び、育児相談など対面同様の内容で、参加者からは好評をいただいております。天候などに左右されずに参加できるほか、**対象月齢内で複数回参加が可能な特典**もあります。是非対象となるご家庭に、皆様からお声がけをよろしくお願いします。

研修開催報告

教育委員　武石陽子

宮城県委託事業　令和4年度 助産師人材育成・復職支援研修

CLoCMiP®レベルⅢ必須研修　災害時対応「妊産婦さんと赤ちゃんを守るための災害対策」

CLoCMiP®レベルⅢ選択研修・日本助産師会　産後ケア実務助産師研修①助産師に関連するガイドライン「産後ケアの現状と課題」

令和5年度宮城県助産師会総会教育講演

CLoCMiP®レベルⅢ選択研修・日本助産師会　産後ケア実務助産師研修⑧子育てに関する支援「産後ケア事業における支援の実際」

今年の2月に2つの研修会と、5月に教育講演を開催いたしましたので、ご報告いたします。オンラインで開催したこれらの研修会および教育講演には、毎回100名を超える参加がありました。

まず初めは、2月の研修会についてです。

第1部は、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科教授の吉田穂波先生に、「妊産婦さんと赤ちゃんを守るための災害対策」というタイトルでご講演いただきました。海外での体験も踏まえ日本の災害対策の弱点や必要な支援についてのお話でした。

吉田穂波先生

吉田先生ご自身が、6人のお子さんの出産・子育てをしながら、東日本大震災はじめ、各地の災害支援にも取り組まれていたということを知り、驚くばかりでした。「受援力」という支援を受ける力も大事ということが印象的でした。また、それぞれの自治体の年間出生数を365日で割ると災害発生日に分娩がある件数も想定できる、行政と共に災害対策を講じるという考え方に感銘を受けました。

安達久美子先生

第2部は、「産後ケア事業の現状と課題」というテーマで、東京都立大学人間健康科学研究科教授の安達久美子先生にご講演いただきました。

当会も、昨年10月より仙台市産後ケア事業（訪問型）を受託し、活動開始しており、まさにタイムリーな話題満載でした。

参加者からの質問も多くあり、それぞれに丁寧に回答をいただきました。課題は山積しているものの、行政との協同により、母子や家族のニーズに沿ったケアを提供できるよう、よりよい運用方法について提案していきたいと思いました。

永森久美子先生

5月の教育講演は、「産後ケア事業における支援の実際」というテーマで、公益社団法人日本助産師会運営委託世田谷区立産後ケアセンター、センター長の永森久美子先生にご講演いただきました。

2月の研修に引き続き、実際に産後ケア事業に携わっている助産師や保健師の皆さんから多くの質問や感想をいただきました。

例えば、「4か月以降の赤ちゃんをお預かりするには、施設側の準備や自治体との連携に課題があることを感じた」「保健師をはじめ行政ではマンパワー的にハイリスクを追うのがやっとだと感じているので、開業助産師を活用する流れがあるといい」などの感想が寄せられ、今後の改善策について広い視野で考えるとてもいい機会となりました。

今後も実践と研修が結びついて、さらにいいケアが宮城県に広がるように企画を考えていきたいと思います。

研修・教育講演 参加者	令和５年２月 1. 災害対策 2. 産後ケア	令和５年５月 産後ケア実際
最大視聴者数	**113**	**104**
ｱﾝｹｰﾄ回答数	**80**	**84**
宮城県助産師会会員	43（53.8%）	54（64.3%）
宮城県内非会員	9（11.3%）	7（ 8.3%）
宮城県外助産師	24（31.9%）	3（ 3.6%）
学生	4（ 5.0%）	19（22.6%）

じょさんしフェスタinみやぎ2023について

今年度のじょさんしフェスタは現在どのような形で実施できるか検討中です。

詳しく決まりましたら会員メール、SNS等にてお知らせいたします。もうしばらくお待ちください。

今後の研修会予定・お知らせ

一般社団法人宮城県助産師会主催研修

◎日時：令和5年11月18日（土）10：00～15：00(2部構成)

〔第1部〕10:00-11:45（9:30～オンライン研修開場）

「LGBTQ＋を入り口に考える性の多様性と共生社会」
講師 **鈴木 茂義先生**
（公立小学校非常勤講師、
特定非営利活動法人プライドハウス東京 理事）

〔第2部〕12:15-15:00（オンライン研修）

CLoCMiP®レベルⅢ選択研修
産後ケア実務助産師研修⑤
乳児の診断・発達に関する診断と技術
に該当するテーマを企画中

令和6年2月
〔第1部〕10:00-11:45（9:30オンライン研修開場）
CLoCMiP®レベルⅢ必須研修 臨床病態生理に該当するテーマを企画中
〔第2部〕 12:15-15:00
CLoCMiP®レベルⅢ必須研修 助産師と倫理に該当するテーマを企画中

＊11月と2月の研修はオンライン研修になります。会員の皆様には、ご登録のメールアドレスへ当日のURLと講義資料をお送りいたします（参加登録不要）

この他にも、助産院の見学等を行う**「じょさんしトーク」**を企画中です。一斉メール等でお知らせいたします。

【お問合わせ】 研修運営チーム メール：a@midwife-miyagi.net

令和5年1月12日（木） 令和4年度 みやぎ助産師マップ連絡会 開催報告

みやぎ助産師マップ連絡係 阿部美喜

この度、令和5年度の「みやぎ開業助産師マップ」が仕上がりました。今年度は、新たに3か所の助産院が掲載され、25か所の助産院がマップを飾っております。今年度は、産後ケア事業に参入された助産院も増え、また、助産師の仕事の案内等もリニューアルいたしました。旧マップをお持ちの方がおりましたら、最新版の配布をお願いいたします。最新版のマップが必要な方、新規掲載希望の方は、阿部（minmin2679@gmail.com）お問い合わせください。

「みやぎ助産師マップ」の掲載には、以下の掲載基準を満たしている必要があります。ご確認ください。

【掲載対象】助産所部会、保健指導部会で開業している方
【掲載基準】
①宮城県助産師会会員である ②会費の滞納がない ③賠償責任保険に加入している
④1年間（令和5年4月～翌年3月）で宮城県助産師会事業に1回以上参加している
⑤1年間（令和5年4月～翌年3月）で宮城県助産師会の研修会に2回以上参加している
※基本、宮城県助産師会主催の研修会参加とするが、アドバンス助産師更新の基準に該当する研修会の参加も可とする ⑥令和5年度4月以前に開業している

【新規掲載希望の方】
新規開業助産師の方は次の2点を追加
（開業初年度は掲載できません）
〇宮城県助産師会通常総会に出席又は 理事会・委員会に出席して自己紹介を行う
〇宮城県助産師会だよりに研修会報告とともに、助産院紹介記事を書く

【編集後記】 広報委員 新沼映子 根本靖子

今年も半年が過ぎ、様々な事業が順次スタートしております。会員の皆様のご協力により当会の活動は成り立っております。お忙しい中、記事のご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

＊今回、機関紙と共に下記を同封しております。ご確認ください。
①「防災マニュアル（簡易版）」 ②「災害連絡網（安否確認グループ名簿）」
個人情報の取り扱いに十分ご注意ください。

一般社団法人宮城県助産師会

〒981-8522 宮城県仙台市青葉区
国見1-8-1
東北福祉大学
健康科学部保健看護学科 気付

電子メール: miyagisanba@gmail.com